

2009  
2月9日(月)  
18:30~20:00

講演会

# 宇宙倫理と宇宙文化

POUR UNE ETHIQUE ET UNE CULTURE DE L'ESPACE



テーマ：  
宇宙デブリ  
惑星汚染  
有人探査  
宇宙軍事化  
宇宙法規制 等



L'INSTITUT

東京日仏学院



CENTRE NATIONAL D'ÉTUDES SPATIALES

公開講演会（入場無料・同時通訳付き）

講演者：五代 富文

（元宇宙開発事業団 副理事長）

・ Jacques ARNOULD

（フランス宇宙研究センター 倫理担当）

会場：東京日仏学院 エスパス・イマージュ

（飯田橋駅から徒歩7分）詳細は [www.institut.jp](http://www.institut.jp)



## 公開講演会：宇宙倫理と宇宙文化

2009年2月9日(月)18時半より20時

開場:18時

場所:東京日仏学院エスパス・イマージュ

(入場無料、同時通訳付、登録不要)

宇宙デブリの増加による宇宙汚染、惑星の生物学的汚染、有人開発の是非、宇宙旅行、探査に絡む企業的利益関係、将来の月面(ひいては火星)における人間活動に対する法整備、流星の地球衝突の虞に対する対策、宇宙の軍事化等、宇宙開発に関連する様々なテーマは、今、宇宙開発機関にとっては比較的新しい概念である宇宙倫理の観点からの考察が試みられている。フランス国立宇宙研究センター(CNES)が2001年に新しく設けたポストである倫理・社会・文化問題担当のジャック・アルヌー氏が、彼の取り組みを紹介する。フランス側からのこのアプローチに対して、日本側からは元宇宙開発事業団副理事長の五代富文氏が日本の宇宙開発の展望そして宇宙文化創出について語る。

ジャック・アルヌー氏：



1961年に生まれたジャック・アルヌー氏は、ドミニカ修道会の修道士であると同時に農学技師で、科学技術史で博士号を取得している。「生命科学とその発達」および「宇宙の征服」という二つのテーマに深い関心を持って、科学と文化と宗教の関連性についての考察に積極的に参加している。このテーマに関する著作も数多く、「ダーヴィン後の神学」(1998年)「Gene Avatars、新ダーヴィン論の進化の法則」(2002年)「宇宙倫理イカサの二度目のチャンス」(2001年)「星への歩み」(2006年)「神対ダーヴィン、創造説論者は科学を征服するか?」(2007年)等が出版されている。ジャック・アルヌー氏はフランス国立宇宙研究センター(CNES)において倫理、社会、文化の領域を専門的に担当している。

五代富文氏：



五代富文氏は、1932年に東京で生まれ、東京大学工学部航空学科(1957年)、カリフォルニア工科大学機械学科修士課程(1964年)を卒業、東京大学より工学博士号を取得(1976年)する。1957年より1961年まで富士精密工業株式会社で観測ロケットの設計・研究に携わった後、航空宇宙技術研究所で、固体燃料ロケット・ロケット打ち上げシステムの研究に従事する。1982年からは、宇宙開発事業団(NASDA)において、未来ロケットグループ、さらに初めての純日本製ロケットH2の打ち上げ計画を取り纏め、また再利用宇宙機HOPEの研究開発にも貢献する。1995年より5年間は、宇宙開発事業団副理事長として国内外の宇宙活動の調整にあたり、その後2001年より2004年まで、文部科学省宇宙開発委員会の委員を務める。その間、日本航空宇宙学会会長(1988年)、日本ロケット協会会長(1994年)を歴任する。また国際的にも、1998年より2000年まで、国際宇宙連盟(IAF)の会長、1999年より2001年まで、米国航空宇宙学会国際理事を務める。宇宙技術に関する著書、記事、論文も多数で、知恵蔵宇宙技術編を監修。現在、宇宙政策シンクタンク“宙の会”代表幹事。

お問い合わせ：

フランス国立宇宙研究センター(CNES)駐日事務所

フランス大使館科学技術部

〒106-8514 東京都港区南麻布 4-11-44

Tel: +81-3-5798-6047

Fax: +81-3-5798-6050

メール: [assistante.cnes@ambafrance-jp.org](mailto:assistante.cnes@ambafrance-jp.org)